

猪熊兼繁 いのけ かねひら 法制史學者。明治二十五年七月（日京都生れ、昭和五十四年一月七日歿（一九〇二—七九）。昭和二年京都帝國大學法學部卒。同大教授。有職故實の研究家。京都の葵祭や時代祭の服飾の時代考證に努め、都さどりの脚本も執筆した。

著書「室生山」（昭和十六年五月七日大阪・關西急行鐵道株式會社）、
「あすのめぐり」（昭和十六年六月十日大阪・關西急行鐵道株式會社）、
「春日社 興福寺」（昭和十六年八月二十日大阪・近畿觀光會）、
「奈良の上代文化」（合著・橋本淑胤編、昭和十九年十一月十五日大阪・全國書房）、
「日本生活史」（昭和二十七年六月十五日世界思想社）、
「家庭生活の歴史」（昭和二十八年二月一日東洋經濟新報社）、「家庭文庫」（「東山漫話」（合著・京都新聞編纂部編、昭和二十一年十一月二十日河出書房「河出新書」）等。